

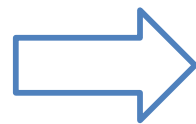
IFNフリー（ハーボニー・マヴィレット・エプクルーサ）治療及び診断書記載医師に係る研修会 について

○日本消化器病学会消化器専門医が医療費助成の対象となるインターフェロンフリー治療薬の診断書記載医師として認定を受けるために開催している研修会。

INFフリー治療

昨年度までは、日本消化器病学会消化器病専門医の内、「県の研修会を過去一度も受けたことがない医師」を対象に3剤をまとめて研修会を実施。→今年度から過去の受講歴の要件を撤廃

研修会実績		
対象薬剤	開催月	参加人数
ソホスブビル及びリバビリン併用療法	平成27年7月	50人
ハーボニー配合錠	平成27年9月	48人
エレルサ錠及びグラジナ錠	平成28年10月	53人
ジメンシー配合錠	平成29年2月	53人
マヴィレット配合錠	平成29年11月	45人
エプクルーサ配合錠	平成31年3月	32人
マヴィレット・ハーボニー・エプクルーサ	令和5年8月	5人



令和6年度
(マヴィレット・ハーボニーエプクルーサ)

受講者：8名

各薬剤の診断書可能医師		
薬剤名	医療機関	医師
ソホスブビル及びリバビリン併用療法	71機関	103人
ハーボニー配合錠	76機関	117人
エレルサ錠及びグラジナ錠	74機関	107人
マヴィレット配合錠	73機関	112人
エプクルーサ配合錠	56機関	83人

高知県での対応について（協議事項）

◎インターフェロンフリー治療の研修会の開催方法について

- ・ 開催方法(オンライン等)
- ・ 開催頻度(毎年、数年に一度、参加申込数により実施決定する 等)